



相川の北沢浮遊選鉱場の西の位置に、明治41年(1908)に、出力500kwの当時としては大きな火力発電所が造られました。50W電球で

金銀山よもやまばなし(5) 旧北沢火力発電所(汽罐室棟)

1万個分の電気をともす能力を備えたものです。鉱山にはそれまで高任水力発電所が稼働していましたが、その出力は15kwでした。北沢火力発電所は、当時、3棟の建物によって構成されていましたが、現在残っているのはこの内の汽罐室棟のみとなります。

汽罐室棟の構造は、レンガ造り地下一階地上二階建て切妻屋根とし、外壁は化粧レンガ積みを表し、屋根は椽瓦葺きとなっています。小屋組みは木造キングポストトラス組みとし、トラスの合掌に母屋および垂木を掛け、野地板を張っています。真束には小屋筋交いを設け、基礎は野面石乱積みの上に切石四段積みとし、四段目を水切り石としています。ここから上部をイギリス積みレンガ造りとなっています。窓回りおよび軒回りには化粧石を組み込み、また、妻面は椽瓦葺きのケラバを出さず、レンガ積みみのパラペットを立ち上げ、笠石を載

せて納めています。一階床は鉄骨造りの床梁の間にレンガをアーチ状に組み床版を構成し、一部にコンクリート打設の改変が見られます。内部は二階とも木造、間仕切りにより数部屋に区切られて改変されており、また、地下にはコンクリート造りの機械基礎が残っています。このころから佐渡金銀山の機械設備は、蒸気動力から電気動力に転換し始め、諸施設が電化する初期段階であり、北沢火力発電所は重要な役割を果たしていたと考えられます。大浮遊選鉱場完成後の古写真には、現在残されている

汽罐室が発電所汽罐室棟が確認されるほか、背面後方に煙突が確認できることから、火力発電に必要の一連

加茂湖カキ祭り 日時 3月20日(日) 10:00~14:00 会場 おんでこドーム 内容 カキの土手焼き、カキ飯、カキ汁、カキの直売り その他芸能等のイベント 問い合わせ先 加茂湖漁業協同組合 ☎27-5167



佐渡金銀山 未来に残そう世界遺産



▲現在の火力発電所跡

* 戸籍の窓 *

12.21~1.20 届出

Table titled 'うぶごえ' with columns for region, address, name, guardian, and date of birth.

Table titled '純奈音' with columns for region, address, name, guardian, and date of birth.

Table titled 'おくやみ' with columns for region, address, name, age, and date of death.

Table titled '孝藏' with columns for region, address, name, guardian, age, and date of death.

*保護者やご遺族などの承諾を得て掲載しています。 *掲載について都合の悪い場合は市民課戸籍係へお申し出ください。なお敬称は省略します。